

対象	・地域循環共生圏の実現に向けて、具体的な取り組みを考え始めた地域の人たちのチーム ※「地域の資源&課題の見える化ワークショップ」実施メンバーを想定
目的	・「地域の資源&課題の見える化ワークショップ」で洗い出した課題や資源から、今掘り下げるべき「テーマ」を言語化し、そのテーマが生じた原因、放置した場合の影響を掘り下げることで、本当に取り組むべき「課題」を認識する
日時	

タイトル	地域課題のブレイクダウンカードゲーム
------	--------------------

時間	LAP	目的	担当	内容	備考
	10	イントロ	主催者	<b>進め方の説明</b> ・趣旨説明 ・前回のワークショップ※の結果の共有 ・グループワークの説明	※「地域の資源&課題の見える化ワークショップ」
	5	準備		<b>私が気になる「テーマ」を選ぶ</b> ・カードを切って、カードゲームの要領で配る ・参加者は配られた手持ちカードの中から、1枚自分が「話したい」と思ったテーマのカードを選ぶ	※グループの人数は5名以下に
	20	ワーク①	グループで必要な役割 ・進行役 ・発表役	<b>◆みんなで話し合う「テーマ」を決める</b> ①それぞれが選んだ「テーマ」を、なぜそれを選んだのかも含めて共有する(5分) ※ホワイトボードor模造紙に貼ったり、適宜メモも記入 ②全員の共有が終わったら、このグループで話し合う「テーマ」を一つ決める(5分) 【選ぶ視点】 <input type="checkbox"/> 地域にとっての重要度/緊急度 <input type="checkbox"/> このメンバーで話し合う妥当性 ③POINT▶選んだテーマについて、何が地域にとって課題か、文章にする(10分) ※カードに書かれる内容は単語の場合が多いので、「○○が**で□□□なことを、●●にしたい」など、補足する。	
	30	ワーク②		<b>◆選んだ「テーマ」を掘り下げる</b> ①影響を考える;その「テーマ」の現状を放置したら、どうなってしまうか ・ふせんに個人で書く(5分程度) ・全体で共有(10分) ②原因を考える;なぜ、今そのような状態になっているのか?考えられる理由、影響している社会の事象は? ・ふせんに個人で書く(5分程度) ・全体で共有(10分)	
	5			休憩	
	30	ワーク③		<b>◆今何ができるか/何をすべきかを考える</b> ①全体を捉えた上で、解決のためにできることを考え、それぞれふせんに書き出す(個人ワーク5分) 【考える視点】 <input type="checkbox"/> すでにやっていること、すぐできること <input type="checkbox"/> 難しいけど必要なこと ②一人ずつ共有する(10分) ③出たアイデアをもとに、ディスカッション(15分)	
	15	共有	各グループの発表役	<b>全体共有</b> ・それぞれのテーブルで出た意見を、各グループの発表役から発表する	
	5	まとめ	主催者	<b>全体のまとめ</b> ・ワークショップで出た意見を整理、今後の展望など	